

予算と方針

安倍内閣は「地方創生」を最重要課題として位置づけ、人口減少・地域経済縮小を克服するため、「まち・ひと・しごと創生」に係る「長期ビジョン」と「総合戦略」を閣議決定しました。地方創生は、地方自治体に地域の特性を踏まえた戦略の策定が求められています。策定に当たっては、行政だけではなく、市民、産業界、大学、労働団体などを含めた多様な主体が参画し作り上げていくことが重要とされ、地域の総合力が問われることとなります。持続可能なまちづくりを進めるための戦略を練り上げ実行していくことで、魅力ある半田、元気な半田を子や孫、さらにはその後々の世代に引き継いでいく所存です。

今年度は半田赤レンガ建物、ミツカンミュージアムがオープンし、回遊ルートを整備するなど、「観光元年」ともいべき年であり、まさに飛躍の年です。新しい発想を持ち、失敗を恐れず、アグレッシブな姿勢で臨み、市民の皆様とともに大きく飛躍していきたいと考えています。

予算額の表記について

国の補正予算に対応し、地域の消費喚起等に向けた取組み及びまち・ひと・しごとの創生に資する先行的な取組みに対する交付金の対象事業については、平成27年度実施予定事業の前倒し分を含めて、平成26年度補正予算に計上し、27年度の主要事業とともに紹介しています。なお、該当事業については「補正」と表示しています。

協働により ともに高め合う まち

市民協働の根幹をなす自治区活動について（仮称）「自治区のある方検討会議」を立ち上げ、活性化のための方策を皆様とともに検討します。

市内4地区に試行配置している「地域担当職員」は、行政

市民団体の自発的・自立的活動の促進に 市民活動助成事業

予算額 809万6千円

市内で活動するNPO・ボランティア団体・自治区などの市民活動団体が行う事業を資金面で支援します。

- はじめの一步部門 100万円
- ステップアップ部門 700万円



情報がすぐわかる、職員が身近に感じられるなど好評をいただいております。今年度からは希望される地域に順次配置し、地域に寄り添い、ともに考えていく現場主義のさらなる徹底に努めます。

日本福祉大学が地域との連携活動拠点として、市民交流センター内に「Cラボ半田」を設置します。知多半田駅前のにぎわいの創出や地域包括ケアの推進などをテーマに連携し、地域やNPOなど様々な主体を巻き込んだ協働によるまちづくりを進めます。

コミュニティ活動の支援に コミュニティ環境整備 支援助成金事業

予算額 400万円

コミュニティ活動に必要な備品購入や、コミュニティセンターの利便性を高める改修工事、掲示板設置工事等へ助成します。

協働による自治区運営について 自治区活動推進事業

予算額 98万9千円

「地域担当職員制度」の本格実施にあわせて、イベント開催時の備品貸出などの支援を行うほか、これからの自治区運営のあり方について話し合い、地域の安全・安心のため一緒に取り組んでいきます。

【その他、主な事業】

事業名	内容	予算額
ボランティア・NPO支援事業	ボランティアや市民活動団体等への効率的かつ機能的なサポート体制を目指し、「はんだまちづくりひろば」の相談体制の充実と団体間の交流・連携を図ります。	986万7千円
半田市プロモーション映像制作事業	まちの魅力や強みを幅広く発信するための映像を制作し、インターネットでの配信、イベントや公共施設での放映を実施します。	196万5千円
アダプトプログラム推進事業	道路、公園、河川等をボランティアが管理（美化・保全）する制度を推進するため、必要な清掃用具等を支給し支援します。	54万7千円
地域コミュニティ円卓会議推進事業	地域内の様々な方が平等に円卓を囲んで行う「円卓会議」で、地域の課題を話し合い、まちづくりの新たな活動につながるよう支援します。	30万円